

## I 基本的理念

### 1 学校の使命

聴覚障害教育の学校として、学ぶ意欲にあふれ、心豊かにたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたちを育成する。

### 2 使命実現のための方策

知・徳・体の調和のとれた、自らの人生を切り拓き、主体的に生きる力を育成する。

- ①基礎的・基本的な知識・技能を定着させる。
- ②知識・技能を活用して課題を解決する力を育成する。
- ③学校内外の人々との交流の機会をとおして他者の尊重、協働する姿勢、公共の精神を育成する。
- ④健康的な生活習慣を定着させる。

### 3 取組姿勢

- ①凡事徹底を遂行する。
- ②授業のスタンダードを徹底する。
- ③情報を共有し、組織として取り組む。
- ④校外の人材、資源を積極的に活用する。

## II 本年度の重点教育目標と対応

### 1 聴覚障害教育のセンター的役割

- ①聴覚障害教育支援センターの機能の充実と発揮に務める。
- ②教育相談体制の強化と教育相談事業等の充実に努める。
- ③学校関係者等への具体的な支援及び外部人材の活用をより強化する。

### 2 家庭・地域との連携及び学校評価の活用

- ①評価委員会の意見や評価アンケートの客観性をもとにした学校づくりを行う。
- ②学校の使命と役割を共有し、知恵と工夫で校外に情報発信を行う。
- ③体験入学、学校行事等を通じて地域や関係機関との交流を深める。

- 3 子どもが主体的に学び、学習意欲がもてる環境づくり
  - ①読書力診断検査等による評価を反映させ、基礎学力の定着と学力の向上を目指した分かる授業に取り組む。
  - ②読み書きの力を伸ばし、各教科等の指導をとおして国語力の向上に取り組む。
  - ③家庭学習、学習サイクルの定着を図る。
  
- 4 教職員の専門性の向上、指導力を高める研究・研修の推進
  - ①各教科、領域等の個別の指導計画や個別の教育支援計画の策定と、RPDCAサイクルを構築・実施することで、学習のねらいの明確化や学習効果を高める。
  - ②専門性や指導力を高めるため、高知ろう学校教職員としてのスタンダードを確認したうえで研究授業等の実施と研究・研修活動を活性化する。
  - ③平成28年度第39回中国・四国地区聾教育研究大会高知大会実施に向けた取組を行う。
  - ④特別支援学校教諭免許状の保有率をあげる。
  
- 5 健康・安全に配慮した環境の整備
  - ①心の教育を推進する。
  - ②危機管理マニュアルの周知徹底と、防災学習や避難訓練等を実施する。
  - ③食育の推進と学校給食等の安全衛生管理を徹底する。
  - ④健康的な生活習慣確立のため、家庭と連携する。
  
- 6 キャリア教育の推進と進路指導の充実
  - ①幼小中高とキャリア教育学習プログラムによる系統的な学習を実施する。
  - ②一人一人のニーズに応じたきめ細かな進路指導に取り組む。
  - ③就業体験の実施と就業体験学習パンフレット及び進路通信の有効な活用を図る。
  - ④家庭・関係機関と連携した個別移行支援計画を策定するとともに、卒業後等のアフターケアを充実する。
  
- 7 職員の服務規律の遵守
  - ①報告・連絡・相談を励行し、組織として課題に向き合う。
  - ②適正な会計等の執行を徹底する。
  - ③交通違反、セクハラ、体罰等の服務を厳正に守る。

### Ⅲ 各校務分掌等への取組依頼

#### 教務部

授業時数確保の進捗管理と教育課程の検討

#### 生徒部

児童生徒の少人数化に伴う児童会、生徒会活動の在り方の検討

#### 進路部

キャリア教育の更なる推進と進路希望の実現

#### 研究部

県版授業のスタンダードと「高知ろう学校教職員のスタンダード」の徹底と分かる授業の推進

#### 相談支援部

校内外支援のためのスキルの伝達と校外資源の活用

#### 総務部

今後の活動の在り方及び事業の精選と検討並びに高P連特別支援学校支部事務局の業務遂行

#### 視聴覚部

研究部と連携して授業等指導の場におけるICT活用の推進

#### 寄宿舍

組織としての舎生の実態・特性の把握並びに対応の共有